

# 新しい基本構想の概要について

## 基本構想の構成

基本構想は前文と7つの章で構成しています

- 前文
- 第1章 基本構想の意義
- 第2章 理想の都市
- 第3章 基本構想の推進
- 第4章 まちづくりの目標
- 第5章 目標時期
- 第6章 人口の想定
- 第7章 施策の大綱

## 基本構想の特徴

### 〈理想の都市〉

苦小牧市の目指す理想の都市は、先人の掲げた理念を継承し、「人間環境都市」とします

「人間環境都市」は、人間主体のまちであり、豊かな自然と調和した文化の薫り高く潤いのある快適な生活環境の中で、共に生き生きと心豊かに暮らしながら、全ての市民が持てる能力で社会に貢献し、未来に向かって挑戦し続けるまちです

雇用や子育てなど、生活面での課題が顕在化する中、それらを含む生

### 〈まちづくりの目標〉

現在の基本構想では6つの目標を設定していましたが、5つの目標に整理しています

- 1 共に支え合い  
健やかに暮らすまち
- 2 明日を拓く  
力みなぎる産業のまち
- 3 学び喜びがあふれる  
文化の薫るまち
- 4 自然と環境にやさしいまち
- 5 安全・安心で  
快適に暮らすまち

### 〈目標時期〉

平成39年度（2027年度）

### 〈人口の想定〉

おおむね16万人台後半

国立社会保障・人口問題研究所による推計値からは、目標時期において16万人台前半が見込まれるところです。さまざまな取り組みを通して人口減少の抑制を図り、おおむね16万人台後半とすることを目指します

に転じてから初めて策定する計画となります。人口減少と少子高齢化によるさまざまな影響を考慮しながら、まちづくりの方向性を検討しています。また、人口減少を最小限に抑えていくことを意識して計画策定に努めています

### 〈自治基本条例に基づいた計画づくり〉

総合計画は、市の自治基本条例において作成することが規定されており、市民自治によるまちづくりを進める上で、市民の皆さんとの共通の指針となります。そのため、アンケートの実施や懇話会の開催、審議会での審議などを通して、市民の皆さんの意見を反映させた計画となるよう努めています

## 総合計画ができるまで

平成28年7月～9月	アンケート調査（市民・事業所）
平成29年1月～3月	総合計画市民懇話会開催（全3回）
平成29年8月～30年1月	基本構想審議会開催（全4回）
平成29年10月～11月	パブリックコメント実施（基本構想）
平成29年12月～30年1月	パブリックコメント実施（基本計画）
平成30年2月	基本構想の議決 基本計画、実施計画策定

表紙から

とまこまいスケートまつり



今年で52回となるとまこまいスケートまつりが、2月3日、4日に開催されました。名物「しばれ焼き」のブースでは、ドラム缶を囲んでジンギスカンをおいしそうに頬張る姿が見られたり、ちびっこすべり台などでは、子どもたちの楽しそうな声が聞こえてきたりと、延べ5万5千人が苦小牧の冬を満喫しました。

広報とまこまいは、誰もが使いやすいように、ユニバーサルデザインフォントを使用して作成しています。また、植物油インキ、古紙80%以上の再生紙を使用し、環境に配慮しています。



### アイコンの見方

詳細 電話番号